

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	利用者と地域の関わりを継続する	現在でも以前住まれていた地域の住民や職場の同僚などが訪ねて来られるが、こちらから馴染みの地域へ出向く事が少ない。	利用者1人1人に以前の馴染みの場所について、ヒアリングし訪ねていく機会を作りたい。京都市の歴史のようなDVDと一緒に観て、一緒に昔に想いを馳せることも地域密着の利点であるので取り入れて行きたい。	3ヶ月
2	26	会議に家族の参加を求めたい。ケアプランの内容が具体性に乏しい	家族様から個々に要望を聞く機会は多く持っているが、話し合いの場を設ける場合は深刻な事が多い。普段から気軽に会議に参加して頂けるようにしたい。	夕方5時～何分など、フォーマルな会議形態だけでなく、家族さんが気軽に話し合いに参加出来る雰囲気を作り、「会議録」として記録に残すようにする。	3ヶ月
3		運営推進会議の議事録を会議出席者、運営推進会議メンバーには送付しているが、各家族には送付していない	暴言暴力などある利用者のカンファレンスなど当該家族を傷付けることもあり、また自由な発言を抑制するのでは無いかと懸念しますが、内容を吟味し公表することは考えたい。	プライバシーに配慮して議事録を家族に送付出来るよう検討する。	3ヶ月
4	35	自然災害についても訓練実施する	消防訓練時に併せて実施出来るようにする。	年明けの1月～2月に実施予定の消防避難訓練時に併せて訓練などに取り組むこととする。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。